

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

**※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）****A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。** ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:5 (100%) ②:0 (0%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:4 (80%) ②:1 (20%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:3 (60%) ②:2 (40%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:4 (80%) ②:1 (20%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:2 (40%) ②:3 (60%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:4 (80%) ②:1 (20%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:2 (40%) ②:1 (20%) ③:2 (40%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:5 (100%) ②:0 (0%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:3 (60%) ②:2 (40%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:5 (100%) ②:0 (0%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

**B（問 14～18）：FD 活動についてお尋ねします。**

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 1 (20%)
  - ②学内外の FD 講演会等への参加： 5 (100%)
  - ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
  - ④その他： 0 (0%)
- 未回答： 0 (0%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 2 (40%)
  - ②学内外の FD 講演会等への参加： 4 (80%)
  - ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
  - ④その他： 1 (20%)
- 未回答： 0 (0%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：2 クラス（順不同）

[1] 数学や統計学に対する苦手意識が背景にある授業評価の記述が見られたので、今年度は、統計学を学び、統計スキルを身につけることのメリットについて、時間を割いて話をし、学生の学習意欲の維持向上に取り組む改善を行った。

[2] 演習問題を増やし、解法の解説を充実させた。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 3 クラス（順不同）

[1] “【評価できる点】

受講生の学習履歴への配慮ならびに数学に対して苦手意識を持っている学生向けに統計学の有用性や今後の大学での学習や社会人になった際に統計スキルが具体的にどのように役立つのかについて時間を割いて話しを行い、学習意欲の維持向上に努めた。

講義毎に学習内容を自己確認できる小テストを毎回実施して、知識の定着を図った。

【反省すべき点】

基本的な数操作スキルに問題のある学生が数%あり、これらの学生については、別途、ケアを行う必要があることが明らかとなった。来年度は、これらにも対応した授業を行うこととしたい。”

[2] 定期試験の結果から、大半の学生については、到達目標を達成できたと考えている。

[3] できる限り丁寧に解説した。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

**C（問 19～21）：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。**

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 2 (40%)      ②いいえ： 3 (60%)      未回答： 0 (0%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

①聞いて理解する： 1 (20%)  
②読んで理解する： 2 (40%)  
③自分の考えをまとめて話す： 0 (0%)  
④自分の考えを文章にまとめる： 1 (20%)  
⑤討論する： 0 (0%)  
⑥皆の前でプレゼンテーションする： 0 (0%)  
⑦その他： 0 (0%)  
未回答： 3 (60%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 1 クラス

[1] 講義の初回に計 48 ページのプリントを渡し、これを読んで理解の助けになるようにした。

**D (問 22～25)：中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。**

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 0 (0%)      ②いいえ： 5 (100%)      未回答： 0 (0%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおおよその回数を選んでください。

①1～5回： 0 (0%)      ②6～10回： 0 (0%)      ③11～15回： 0 (0%)  
未解答： 5 (100%)

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 0 (0%)      ②政治・経済・産業： 0 (0%)      ③自然環境・フィールド体験： 0 (0%)  
④その他： 0 (0%)      未回答： 5 (100%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 0 クラス